

雲南市脱炭素見える化アプリ導入事業に関する 情報提供依頼（R F I）

令和8年9月

雲南市 市民環境部 環境政策課

1. 情報提供依頼（RFI）の概要

（１）件名：雲南市脱炭素見える化アプリ導入事業に関する情報提供依頼（RFI）

雲南市では、市民の脱炭素行動を促進するため、歩数計測やごみの削減（キエーロコンポスト・廃食用油回収への参加）などの取組をアプリ上で記録・可視化し、CO₂削減量の見える化やポイント付与・ランキング表示を通じて、市民の継続的な行動変容を支援する脱炭素アプリ（以下「本システム」という。）の導入を検討しています。

今回のRFIは、各事業者様の本市に対する本システムの提供意向等を把握することを目的としています。

（２）システム概要

■ A. アカウント・ログイン機能

項番	機能名	確認内容
A-1	ユーザー登録機能	スマートフォンアプリからユーザー登録（アカウント作成）が行える
A-2	ログイン機能	ID・パスワードによる認証でログインが行える
A-3	コミュニティ参加機能	地域（自治体）ごとのコミュニティに参加できる
A-4	属性登録機能	コミュニティ参加時に登録アンケート（属性情報）の入力が行える

■ B. 脱炭素計測機能（移動系）

項番	機能名	確認内容
B-1	移動代替計測機能	GPS等の位置情報をもとに、歩行・自転車による移動を自動検知し、乗り物移動との差分をCO ₂ 削減量として自動計測できる
B-2	公共交通利用計測機能	自動車から公共交通機関への移動変容を検知し、CO ₂ 削減量として計測できる

■ C. 脱炭素計測機能（生活行動系）

項番	機能名	確認内容
C-1	マイボトル計測機能	マイボトル使用をカメラ撮影・AI解析により計測し、ペットボトルとの差分をCO ₂ 削減量として記録できる
C-2	コンポスト計測機能	生ごみのコンポスト投下量(重さ・体積)をカメラ撮影・AI解析により計測し、焼却回避分をCO ₂ 削減量として記録できる
C-4	食べ残しゼロ計測機能	食後の食卓をカメラ撮影・AI解析により残飯量を識別し、食品ロス削減分をCO ₂ 削減量として記録できる
C-5	廃食用油回収計測機能	廃食用油の回収申請・撮影により、バイオディーゼル燃料化によるCO ₂ 削減量として記録できる

■ D. 脱炭素計測機能（住まい系）

項番	機能名	確認内容
D-1	省エネ(電気)計測機能	スマートメーターと連携し、電力使用量の前期比較による行動変容を CO2 削減量としてスコア化できる
D-2	省エネ(ガス)計測機能	ガス検針表をアプリで撮影・OCR 読み取りし、使用量の前期比較による行動変容を CO2 削減量としてスコア化できる

■ E. データの信頼性・根拠

項番	機能名	確認内容
E-1	排出係数の根拠	CO2 削減量の算定に、環境省監修の排出原単位データベース（LCA 関連データベース）を使用している
E-2	自動計測（AI）	行動変容データを AI・機械学習により自動計測しており、自己申告・手動入力に依存しない仕組みである
E-3	第三者保証対応	計測データについて、第三者機関による MRV 検証・監査への対応が可能である

■ F. ポイント・インセンティブ機能

項番	機能名	確認内容
F-1	脱炭素ポイント付与機能	CO2 削減行動に応じて脱炭素ポイントが自動付与される
F-2	ポイント確認機能	貯まった脱炭素ポイントをアプリ画面（トップ画面）で確認できる
F-3	特典交換機能	貯まったポイントをアプリ内で特典（リワード）と交換できる
F-4	コミュニティ限定特典機能	自治体コミュニティ参加者向けの限定特典を設定・付与できる

■ G. 表示・記録・可視化機能

項番	機能名	確認内容
G-1	行動履歴可視化機能	ユーザーの日々の移動・行動履歴をアプリ上で可視化・確認できる
G-2	脱炭素量表示機能	個人の累積 CO2 削減量をアプリ上でリアルタイムに表示できる
G-3	地図表示機能	移動ルートと脱炭素量を地図上に表示できる
G-4	コミュニティ集計表示機能	コミュニティ（自治体）全体の脱炭素量・参加者数等を集計・表示できる

■ H. 管理者・自治体向け機能

項番	機能名	確認内容
H-1	コミュニティ管理機能	自治体管理者がコミュニティの設定・管理（参加者管理、特典設定等）を行える
H-2	データ出力機能	コミュニティ内の CO2 削減量・参加者データ等を CSV 等の形式で出力できる
H-3	ダッシュボード機能	管理者が参加者数・脱炭素量等の集計データをダッシュボード形式で確認できる
H-4	アンケート・属性データ活用機能	参加者登録時のアンケートデータを自治体施策の分析に活用できる

■ I. システム・セキュリティ

項番	機能名	確認内容
I-1	対応 OS	iOS・Android 両方に対応している
I-2	位置情報管理	位置情報の取得・管理について、個人情報保護法および関連法令に準拠した運用が行える
I-3	情報セキュリティ	ISMS 認証（ISO/IEC 27001）等、情報セキュリティに関する第三者認証を取得している
I-4	データ保管・管理	取得したユーザーデータの保管場所・管理体制について説明できる

■ J. 導入・運用サポート

項番	機能名	確認内容
J-1	導入スケジュール	令和 9 年 4 月の導入が可能である
J-2	カスタマイズ対応	自治体独自のコミュニティ設定・特典設定・デザイン変更等のカスタマイズに対応できる
J-3	利用者サポート	アプリ利用者（市民）向けのサポート体制（FAQ・問い合わせ窓口等）を提供できる
J-4	自治体向けサポート	自治体担当者向けの運用サポート・研修等を提供できる
J-5	利用料金形態	システム利用に係る料金体系（月額・年額・ID 数課金等）を説明できる

（３）雲南市が想定しているスケジュール

本市が想定しているスケジュールは、令和 9 年 4 月に本システムの本稼働をめざします。詳細なスケジュールについてはベンダー決定後、両者協議の上決定します。

（４）料金算定数値

ユーザー数：2,000 人（市外からの参加も想定）

2. 情報提供依頼（RFI）の手続き

（1）情報提供依頼内容

- ① 機能の確認事項
- ② システムに関する導入に必要な確認事項

（2）情報提供依頼（RFI）のスケジュール

項 目	日 程
質問事項受付期間	令和8年10月2日（金）～ 令和8年10月16日（金）
質問事項に対する回答	令和8年10月23日（金）17時00分まで
情報提供依頼回答書提出期限	令和8年10月30日（金）17時00分まで

（3）提出方法

以下のとおり電子メールにてご提出ください。

① 提出先： 雲南市役所市民環境部環境政策課 宛て

② 提出物： 情報提供書（様式任意）

回答票（様式1）

費用見積書（様式任意）

- ・ 導入費用（消費税税抜き金額を明記）
- ・ ランニング費用（ランニングコスト）
- ・ 費用の内訳・根拠を明記

③ メールアドレス： kankyouseisaku@city.unnan.shimane.jp

④ メール表題形式：

【雲南市脱炭素見える化アプリ導入事業に関するRFI 回答】提出事業者名

※「提出事業者名」の箇所には、貴社の名称を記載してください。

※質問を提出する場合、上記表題の「回答」部分を「質問」に変更してください。

3. 情報提供依頼に関する留意事項

- ① 本情報提供依頼の実施をもって、雲南市が調達を行うことを約束したり、回答者に特別の地位を約束したりするものではありません。
- ② 資料提供いただいた回答者に対し、必要に応じて、後日ヒアリングの実施、追加資料の提供を依頼する場合があります。
- ③ 回答いただいた内容については、今後、システムの調達仕様等に反映する場合があります。
- ④ 本依頼書の実施に要する一切の費用は、回答者の負担とします。
- ⑤ 提出された資料及びデータは、返却しません。
- ⑥ 提出された情報は、本市が本システムの導入するための参考としてのみ利用し、他の用途には利用しません。

⑦不明点について確認が必要な場合は、令和8年10月16日（金）までに質問票（様式2）により、電子メールにてお問合せください。

⑧関係法令・規定等順守してください。

- ・個人情報の保護及び知的財産権に関する法律
- ・雲南市個人情報保護条例
- ・雲南市情報セキュリティポリシー
- ・雲南市脱炭素社会実現計画

4. 問い合わせ先

雲南市役所 市民環境部 環境政策課

電 話： 0854-40-1033

メール： kankyouseisaku@city.unnan.shimane.jp